

鶺殿のヨシ原焼き

NEXCO

毎年2月頃、ヨシ原の保全と害草・害虫の駆除、不慮の火災防止等を目的に実施。
鶺殿のヨシ原保存会(道鶺実行組合)様・上牧実行組合様が実施主体。



平成25年2月24日撮影

鵜殿のヨシ原焼き(防火帯設置前年12月中旬～下旬)



①防火帯設置

- ・ヨシ原焼き前に送電線下の炎高抑制のため防火帯が設置。
- ・延焼防止目的の防火帯も複数設置。



鶺殿のヨシ原焼き(ヨシの刈り倒し2月上旬～中旬)



②ヨシの刈り倒し(チップ化)作業

- ・近年では周辺宅地への降灰等の配慮から、ヨシを刈取機にてチップ化。
- ・チップ化には刈取機にてヨシ・オギ等を倒しながら破碎。



鵜殿のヨシ原焼き(煙・炎測定状況 2月24日)



■測定方法

淀川河川右岸堤防上の新名神交差付近から赤外線カメラによる撮影を実施し、煙・炎の高さと温度を測定した。

可視画像



赤外線画像



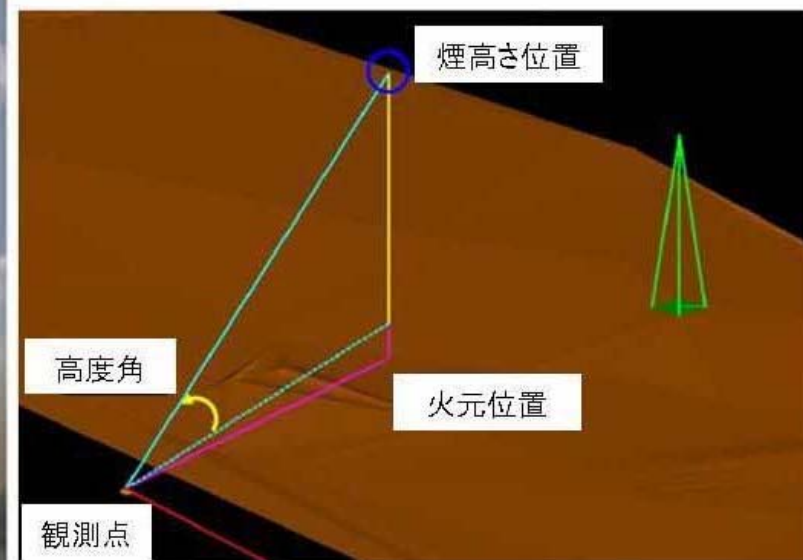
- 測定結果 ・新名神交差付近は概ね30分間延焼し、煙の影響が生じていた。(最大90m程度と推定)
- ・炎の高さは概ね1~2m程度
- ・赤外線画像では黒煙が立ち上がっている箇所がやや温度が高くなってる傾向(高さ9m程度で約13℃程度と推定。当日の気温は4~5℃)

【参考】鶉殿のヨシ原焼き(煙測定方法)



■測定方法

淀川河川右岸堤防上の新名神交差付近から煙の頂点の高度角を測定し、煙の高さを推定



煙の測定方法の概念図